

クロアチア情勢

主な出来事

2016年9月

内政

- 2日、行政省は、9月11日実施の議会議員選挙の登録有権者数を379万9,609名と発表。その内、在外クロアチア人有権者数は、3万4,848名となった。
- 11日、クロアチア議会議員選挙投票実施。12日、国家選挙委員会は、今次選挙の開票結果（開票率100%）を発表。クロアチア民主同盟（HDZ）が61議席（一部選挙区において小政党と協力。在外投票分2議席を含む。）を獲得して比較第1党となった。比較第2党に社会民主党（SDP）率いる「国民連合」が54議席、比較第3党にMOST（独立候補者リスト）が13議席を獲得した。
- 12日、ミラノビッチSDP党首（前首相）は臨時記者会見開き、SDP党規約に基づき議会選挙後150日以内に実施される次期同党党首選に出馬しない旨発表。同日、ピツラ欧州議会議員（SDP選出）及びオストイッチ副党首（前内相）が党首選への出馬を表明した。23日、SDP幹部会は、同党党首選を本年11月19日に実施する旨決定。
- 17日、スプリット（当国南部）において、国家安全保障会議（NSV）開催。移民問題への対応及びNATOサミット等の機会にクロアチアが公約した責務を果たすことにつき確認した。
- 26日、ザグレブ行政裁判所は、本年6月15日にカラマルコ前HDZ党首の利益相反を認めた利益相反委員会の決定を合法とする旨裁決。
- 26日、官報に11日実施の議会選挙の公式最終結果が掲載され、翌27日、フルバティン国家選挙委員会委員長は、公式最終結果をグラバル＝キタロビッチ大統領に提出。これにより、首班指名獲得のための大統領と各党との協議が開始されることとなった。
- 28日、大統領府において、新政府発足に係わる第1回目の協議実施。グラバル＝キタロビッチ大統領は、今次協議において議会過半数（76議席）の支持を得た首相候補はいなかったとし、首班指名を見送った。第2回協議は10月10日に実施予定。

外交

- 1日、コバチ外務・欧州問題相は、独ポツダムで開催された欧州安全保障協力機構（OSCE）非公式外相会合に出席。
- 2日、クロアチア要人は、スパイ容疑のためセルビア当局がクロアチア人（セルビアとの二重国籍）チェド・チョロビッチを逮捕したことについて、右事実関係を否定。6日、ベオグラード高等裁判所は、チョロビッチ氏側から提出された司法取引に応じ、禁固3年を宣告した。

- 2－3日、コバチ外務・欧州問題相は、EU非公式外務理事会出席のため、スロバキアを訪問。
- 5日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、スロベニアで開催された第11回「ブレッド戦略フォーラム」に出席。
- 7日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、シゲトバル（Szigetvar）の戦い450周年記念式典出席のため、ハンガリーのシゲトバル要塞を訪問。ニコラ・シュビッチ・ズリンスキ（クロアチア人総督であり、シゲトバルの戦いにおいて、オスマン帝国の侵略からオーストリア大公国を守った人物）像の除幕が行われた。
- 7－8日、ブリエビッチ国防相は、国連平和維持国防相会合出席のため、ロンドンを訪問。クロアチアは国連平和維持軍に参加する技術部隊（engineering unit）を結成する旨発表。
- 9－10日、グラバル＝キタロビッチ大統領及びオレシュコビッチ首相は、当国訪問中のバルソロメオス1世（Bartholomew I）コンスタンチノーブル総主教と会談。宗教間対話の重要性につき意見交換。
- 14日、プレンコビッチHDZ党首兼欧州議会議員は、EU・ウクライナ議会連盟委員会議長として、仏ストラスブールにおいて、パルビー・ウクライナ最高会議議長と会談。また21日にもキエフを訪問し、パルビー・ウクライナ最高会議議長ら同国政府関係者と会談した。
- 15日、旧リュブリャナ銀行によるクロアチアでの融資回収問題を巡り、スロベニア政府は、3億6千万ユーロに上る損害賠償請求のため、欧州人権裁判所にクロアチア政府を提訴。
- 16日、オレシュコビッチ首相は、EU27か国（英を除く加盟国）による非公式首脳会合出席のため、スロバキアを訪問。
- 17日、スプリット（当国南部）において、NATO参謀総長級軍事委員会会合が開催され、グラバル＝キタロビッチ大統領、ブリエビッチ国防相、シュンドフ・クロアチア軍参謀総長が出席。
- 19日、国連総会出席のためニューヨークを訪問中（19－23日）のグラバル＝キタロビッチ大統領は、難民と移民に関する国連サミットに出席。20日、ポロシェンコ・ウクライナ大統領、ターンブル豪首相、アバーディー・イラク首相とそれぞれ会談。21日、国連総会一般演説を実施。また22日、国連総会の機会にクロアチアが主催した「平等な未来パートナーシップ」会合に出席し、女性の経済・政治的エンパワーメントに関する会合の議長を務めた。
- 19日、国連総会出席のためニューヨークを訪問中（19－23日）のコバチ外務・欧州問題相は、難民と移民に関する国連サミットに出席。また22日、同総会の機会に開催された「南東欧協力プロセス（SEECp）」加盟国閣僚級会合の議長を務めた。
- 24日、オレシュコビッチ首相は、難民に関する首脳会合出席のため、ウィーンを訪問。難民・移民が移動するギリシャから独に至るバルカン・ルート上の国々（ギリシャ、ブルガリア、ルーマニア、アルバニア、マケドニア、セルビア、ハンガリー、スロベニア、唄、独及びクロアチア）は、EU域外国境管理を強化する必要性につき合意。本件会合に際し、オレシュコビッチ首相は、ディミトリフ・マケドニア首相と会談。
- 26日、コバチ外務・欧州問題相は、ラブロフ露外相と二国間電話会談を実施。クロアチア・露経済関係の強化及びBH情勢について意見交換。
- 26－27日、ブリエビッチ国防相は、非公式EU国防相会合出席のため、スロバキアを訪問。

●29日、プレンコビッチHDZ党首兼欧州議会議員は、ブリュッセルにおいて、ユンカー欧州委員会委員長と会談。

●30日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、今月28日に逝去したペレス前イスラエル大統領の国葬出席のため、エルサレムを訪問。

●30日、欧州委員会は、高速インターネット網設置費用30%減のためのEU指令を国内法に移管していないとして、クロアチアを含めた19EU加盟国に対し警告を発出。

経済

●5日、クロアチア・ウォーターはEU結束基金を活用する上下水道管理システムを開発するプロジェクトに合意したと発表。この合意により3.5億クーナが調達可能となり、年末までに更に2.9億クーナが吸収可能となる予定。

●8日、クロアチア統計局は2016年上半期の貿易統計を発表。本年前半の輸出入は前年同期と比べて、各々3.4%、4.1%増となった。

●18日、クロアチアワインはノイシュタット(独)で開催される国際ワインコンクール、Mundus Viniにおいて、4つの金賞、10つの銀賞を獲得した。同コンクールには38か国からなる150の参加者があり、22の最優秀金賞、784の金賞、915の銀賞が付与された。

●27日、シュヴァレク元ザグレブ経済研究所長は、ザグレブ株式取引所が主催した英国のEU離脱の影響に関する座談会において、英国との貿易量はクロアチアのGDPの0.5%程度にすぎず、また観光業に対しては為替変動(ポンド安)が主たる影響であるものの、それでもクロアチアの物価は英国人には十分安価であることから、ともに大きな問題とはならないとの考えを示した。

●28日、地域開発・EU基金省は、欧州委員会がEU基金より、オシエク川港バラ積ターミナル建設プロジェクト(総額1,730万ユーロ)に対し、1560万ユーロを拠出する事を承認したと発表。

主要経済指標

(2016年月次データ、対前年同期比(除く失業率)、政府統計局発表)

輸出総額 (7月)	輸入総額 (7月)	貿易赤字 (7月)	工業生産高 (8月)	インフレ率 (8月)	失業率(登録制) (8月)
+1.5% (510億クーナ, 68億ユーロ)	+1.7% (837億クーナ, 111億ユーロ)	+2.1% (326億クーナ, 43億ユーロ)	+2.5% (7月:1.2%)	-1.5% (7月:-1.5%)	13.1% (7月:13.3%)

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。